

平成23年度 福井型コミュニティ・スクール推進事業実施報告書

**地域の風が行き交い、伸び伸び学ぶ北っ子****永平寺町志比北小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	9回(のべ) 9日

**(2) 地域人材の活用(のべ人数)**

講師・ゲストティーチャー	19人
授業ボランティア(含:低ボラ)	15人
登下校支援ボランティア	875人
その他(読み聞かせ)	78人

**(3) 特色ある活動**

テーマ 「ふるさと教育」

**1. ねらい**

～「北っ子の先生に学ぼう」～

地域や学校の特性を生かした体験活動を多く取り入れ、ふるさとを愛し、生き生きと活動する、たくましく心優しい児童を育成する。

**2. 具体的活動****(1) 「北っ子の先生(学校ボランティア)」による活動の推進****① 読み聞かせ**

毎週金曜日8:00～8:10まで、地域の方が読み聞かせをして下さる。児童はとても楽しみにしており、読書好きな子が育っている。

**② 学校農園支援**

本校では、1年生から6年生まで縦割り班活動の1つとして学校農園で野菜作りに励んでいる。じゃがいも、さつまいも、白菜、大根、ニンジンなど多くの野菜を栽培している。この農園活動に、近所の農家の方が、土作り、種蒔き、苗植え、管理などの指導をして下さる。そのお陰で、野菜の育て方を少しずつマスターし、収穫も年々増えてきた。また、5年生は米作りの指導もしていただき、田植えから稲刈り、天日乾燥、脱穀、臼スリまで昔ながらの方法を教えていただいた。出来上がった白米で、試食会を開き、お世話になった農家の方とともに味わった。

**③ 授業支援**

国語科の「書写」、体育科の「スキー」、クラブの「水墨画」で地域の方に指導をしていただいた。素晴らしい技能で、子どもたちに専門的な技術を楽しく指導してもらえる良い機会となった。

**(2) 地域の良さを知る活動**

① 野外活動…「でこんぼの森」で林間学校を体験した。講師は、でこんぼの森を運営する地域の方で保護者も協力して下さった。的川での川遊び、火起こし体験、野外炊飯、キャンプファイヤー、星空観察、陶芸などの活動に取り組み、地域の自然の素晴らしさや文化に触れることができた。

(3) 地域との交流

① ふれあい集会、ふれあい給食

縄ない、太鼓、お花、お茶、お菓子作りの5つの体験コーナーに分かれ地域の方と活動を共にした。講師はもちろん地域のおじいちゃん、おばあちゃんである。また、子どもたちの祖父、祖母も多く参加して下さった。その後、学校農園でとれた野菜を食材にした給食と一緒に食べ、楽しいふれあいの時間となった。

② 学習発表会

2学期末には、保護者と地域の方をお招きして、これまでの学習活動の成果を見ていただいた。発表方法も学年ごとに工夫し、参観者から「感動した」「とても素晴らしかった」等の感想をいただいた。

③ 感謝の集い

2月にこれまでお世話になった北っ子の先生や、見守り隊のみなさんをご招待して感謝の集いを行った。ゲームやクイズなどを通して児童は交流を楽しんだ。集いの最後には、6年生が作ったポケットティッシュカバーと全校児童の感謝の気持ちを込めた合唱をプレゼントした。なごやかな雰囲気の中で、児童は感謝の気持ちを伝えることができた。

④ サイエンス フェスティバル

地元の福井大学の先生と科学が好きな保護者の協力で、実験や工作コーナーを9カ所設けた。親子で科学の工作や実験に挑戦し、楽しい時間を共有することができた。科学への興味を少しではあるが広げたように思う。今後も、父親に参加してもらいながら子どもたちの体験の場が広がるように工夫していきたい。

3. 成果と課題

小規模校ならではの活動を通して、子どもたちは自分たちの学校・地域を愛する児童に育っている。また、多くの地域の方との交流を体験することで、コミュニケーションを交わす機会も増え少しずつ視野を広げている。そして、多くの人から賞賛の言葉をもらうことで、自分に自信が持てるようになり、自己肯定感を育み、おだやかで安定した学校生活を送っている。

しかしながら、地域の方、保護者に頼る場面もあり、自分の力でやり遂げたり、自らコミュニケーションを働きかけたりする力がやや弱い。今後、児童自身が積極的な関わりを持つように、体験活動や交流の工夫をしていかなければならない。

そのために、学校と保護者、地域がより緊密に連携を深めることができるようにしていきたい。

※A4版1～2枚程度で作成してください。